

経営指針シリーズ④



私たちはマスクの下も笑顔です

私たちは「すべては子ども達の笑顔あふれる未来のために」という基本理念を設定しました。この理念を実現するために、「何をすべきか」を示したのが「行動規範」です。「行動規範」がない組織は、所員が具体的に何をすべきかがわからずに、基本理念が浸透せず絵空事になってしまいます。

「ミラーイメージの法則」という言葉があります。これは、自分の他人に対する態度や

言動、行動は自分に返ってくるという法則です。私たちが笑顔で接することで、市教委のご担当者や校長先生も笑顔になり、そして学級担任や保護者も笑顔になるので、子ども達も笑顔になります。



このようにして私たちの基本理念が達成されます。ますます笑顔になるのです。

最近の研究では、信頼は言葉よりも顔の表情によって判断されるそうです。つまり、信頼を得られるためには、回りくどい言葉や、根拠・

論拠を並べ立てた資料を用いるよりも、笑顔で相手と接することが効果的とあります。また、顔の表情に配慮すること、笑顔で人と接することで、信頼性だけではなく、有能性（頭が良い）といった印象も与えるという結果も出ているそうです。「笑顔は相手の心を癒やす、人間としての最大の武器」だそうです。マスクをしている今だからこそ、大いに笑顔を表現してみましょう。

マスク笑顔の作り方

① 目と頬をいつもよりオーバーに動かす。

- ・笑っている時の目は三日月になる。
- ・ほっぺたを上げるように意識する。

② 声のトーンをあげる

- ・笑うと声のトーンがあがる。
- ・笑っていると声がやわらかくなる。

③ 表情の落差を穏やかにする

- ・マスクしているときでも表情の落差は伝わるので注意。
- ・笑顔の余韻を残すことが大切。

④ 髪型(身だしなみ)

- ・前髪で顔を隠さない。表情を見せる。



笑顔は笑顔を連れてくる

笑顔の人がいると、その周りも人も笑顔になり、温かい空気となりますね。